

上級者☆問題

1. 厚生労働省の説明として正しいものを次の中から選びなさい。

- A) 来年度より未婚者の多い市町村に補助金を出す方針を固めた。
- B) 来年度予算の新規事業には公共施設の託老室設置なども盛り込んだ。
- C) 少子化対策には結婚しやすい環境を整えることが必要だと考えている。
- D) 現行の年金制度を見直すための来年度予算を約31億円要求した。

2. 次の文章の空欄に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

厚労省は①を少子化対策として市町村を補助する方針を固めたが、②の中にはすでに出会い支援に取り組んでいるところが少なくなく、いくつかの③も少子化対策と位置づけて②に④を出している。

- A) ①結婚促進策 ②自治体 ③県 ④奨励金
- B) ①結婚促進策 ②市町村 ③県 ④補助金
- C) ①未婚出産対策 ②市町村 ③県 ④補助金
- D) ①晩婚解決策 ②県 ③市町村 ④補助費

3. 次の文章の中で本文の内容と一致するものを一つ選びなさい。

- A) 日本ではヨーロッパ諸国に比べ、未婚化・晩婚化が少子化に拍車をかけているため、厚生労働省が結婚促進策として市町村事業を補助対象とすることに決定した。
- B) 国にひき続き県もまた、少子化対策を理由に市町村の独身男女の出会い支援事業を補助する方針を固めたため、国とその補助率をめぐってただ今交渉中である。
- C) いくつかの県ではすでに少子化対策として市町村の結婚促進事業を補助しており、来年度より国も同様の補助に乗り出す予定であるが、これが全ての自治体に同等に上手くはたらくかどうかは疑問である。
- D) 厚労省は少子化対策として今まで女性が産みやすく育てやすい環境作りに取り組んできたのだが、「結婚してもらわなければ子どもが生まれにくい」という考えから、来年度より独身男女が結婚しやすい環境作りを整えるといった方針転換をはかった。